

各国支部の特産品展示会で商品について熱心に質問する  
経営者ら。30日、ペルー・リマ市内のリマスイスホテル



# 商談交流 活発にペルー

## WUB世界大会が閉幕

(2006/11/31)

【リマ30日玉城真理 子】ペルー・リマ市内のリマスイスホテルで開催された第十回WUB（ワールドワイド・ウチナー・ビジネス・アシエーション）世界大会

一デーで幕を閉じた。十支部から集まった県系人経営者らは交流を深めながらウチナーネットワークを活用した新たなビジネス展開を探っていた。第十一回大会は来年、米国ロサンゼルスで開催される。

展示会ではペルーやアルゼンチン、米国などの支部が健康食品やEM商品などを出展。ペルー支部はアンデスの植物を原料にした栄養補助食品や地酒などを紹介し、参加者の関心を集めた。ワインやシャムを出展したアルゼンチンの共進貿易（屋賀宣太郎社長）のブースでは、ペルー国

内で五十軒のレストランを経営する県系三世の伊礼ホセさん（三）が新商品のワインを試飲し担当者に輸出状況などを質問していた。伊礼さんは「店で扱いたいと思っっている。ウチナーンチュが集まって各国の特産品を紹介してくれるWUBの交流ビジネスはとてもためになる」と感想を話した。

ペルー経済と貿易について講演したペルー通商観光省副大臣のパプロ・デ・ラフロル・ベラウン氏は、ペルー貿易の成長率が高く、将来的な広がりと可能性を秘めている現状を紹介。石川友紀琉球大名誉教授は自らの調査に基づいて、ペルー鼻人移住百年の歴史と実態について講演した。